単元名 『I want to go to Italy』

平成 30 年 9 月 4 日(火) 第校時
 授業会場 6 年西組教室
 6 年西組 男子 17 名 女子 18 名 計 35 名
 指導教員
 授業者

1 本時の位置 (全時間抜い中の第時)

前時：どこに行ったかを英語で考えた。
 次時：本時で考えた場所では何ができるか考える。

2 本時の主眼

ほかの人の話を聞いていった場所について英語で考えようとしている子どもたちが、I want to go to ○○ という表現を使って自分の行きたい場所を表すことを考える場面で、フラッシュカードを使って受け答えをすることや、ビンゴゲームで自分の行きたい場所を英語で考えることを通して、I want to go の表現に慣れ親しみ、自分の行きたい場所を I want to go to を用いて表すことができる。

3 指導上の留意点

・フラッシュカードを子どもが知っていそうな場所や国、日本語と英語で読み方が違うような国を取り上げて、作成する。

4 本時の展開

階	学習活動	予想される児童の反応	欄	指導・援助と評価
導	1 絵本を読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ secret room だって。 ・ どういう話なんだろう。 ・ 怖い系かな。 	5	○ 大きな表現で子どもの興味を引き付けられるように読み聞かせをする。
	Today's Goal : I want to go to ○○ という表現を使って自分の行きたい場所を表そう。			
展	Today's point : ・真似して I want to go の表現を言えるようになる。			
	2 フラッシュカードを用いて国旗や県の形を出し、I want to go to ○○ に触れ、その場所の美味しいものや有名な場所なども紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ この国旗見たことある。 ・ この場所しってる。 ・ 僕行ったことあるよ。 ・ 今度は県の形になった。 ・ チーバ君だ。 ・ I want to go to … ・ I want to go to ○○ ってどういう意味なんだろう。 ・ I want で何か欲しいだったから、go 入ってるし、行ってほしいじゃないかな。 ・ 行きたいだと思ふ。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ フラッシュカードを用意し、I want to go to this place を用いて I want to go to ○○ と場所について触れる時間を設ける。 ○ 同時にその土地の美味しいものや有名な場所について触れ、次時への足掛けとできるような時間を設ける。 ○ 黒板に I want to go to ○○ と書いておき、繰り返すことで子どもに視覚的、聴覚的に慣れ親しむような時間を設ける。
	3 フラッシュカードに出てきた言葉を用いてキーワードゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ キーワードゲーム だって。 ・ 今度こそ負けないよ。 ・ タイラー先生の言ってる事聞かなきゃ。 ・ 前のキーワードゲームにいくつか加わってるから難しいな。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ キーワードゲームを行い、ビンゴに出てくる言葉に慣れ親しむ時間を設ける。 ○ キーワードゲームの中には前時に出てきた言葉を加えて、前時とのつながりを持たせる。
	4 フラッシュカードに出てきた場所や前時に出てきた場所を使って、ビンゴゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉来てほしいな。 ・ アメリカは書いてなかった。 ・ アミューズメントパークがいい。 ・ アミューズメントパーク言いたいなら I want to go to amusement park. っていけばいいのかな。 ・ 前でできた言葉だからわかりやすいね。 ・ 自分のオリジナルのも考えてみたいな。 ・ 前のカルタ並び替えればビンゴゲームもできそうだね。 	15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の班の物は他の班に見せず、secret という言葉を用いて、絵本とつなげられるようにする。 ○ I want to go to ○○ の表現になれるようにワークシートに書いてある場所の中からビンゴカードを作り、タイラー先生に読んでもらってビンゴが出るまで続ける。
末	5 本時の追究を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日はビンゴゲームをやって、自分の班はビンゴ出来たのでよかった。色んなところに行ってみたいなと思った。 	5	評価 : I want to go to ○○ の表現に慣れ親しみ、自分の行きたい場所を I want to go to を用いて表すことができる